

ガス小売全面自由化に係る ガイドライン等への要望事項について

2016年9月27日

石油の力。

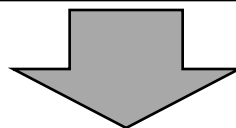


石油連盟



1. LNG基地の第三者利用について

LNG基地の第三者利用にあたって、「消費寄託方式」による利用を前提としたルール作りをお願いします。



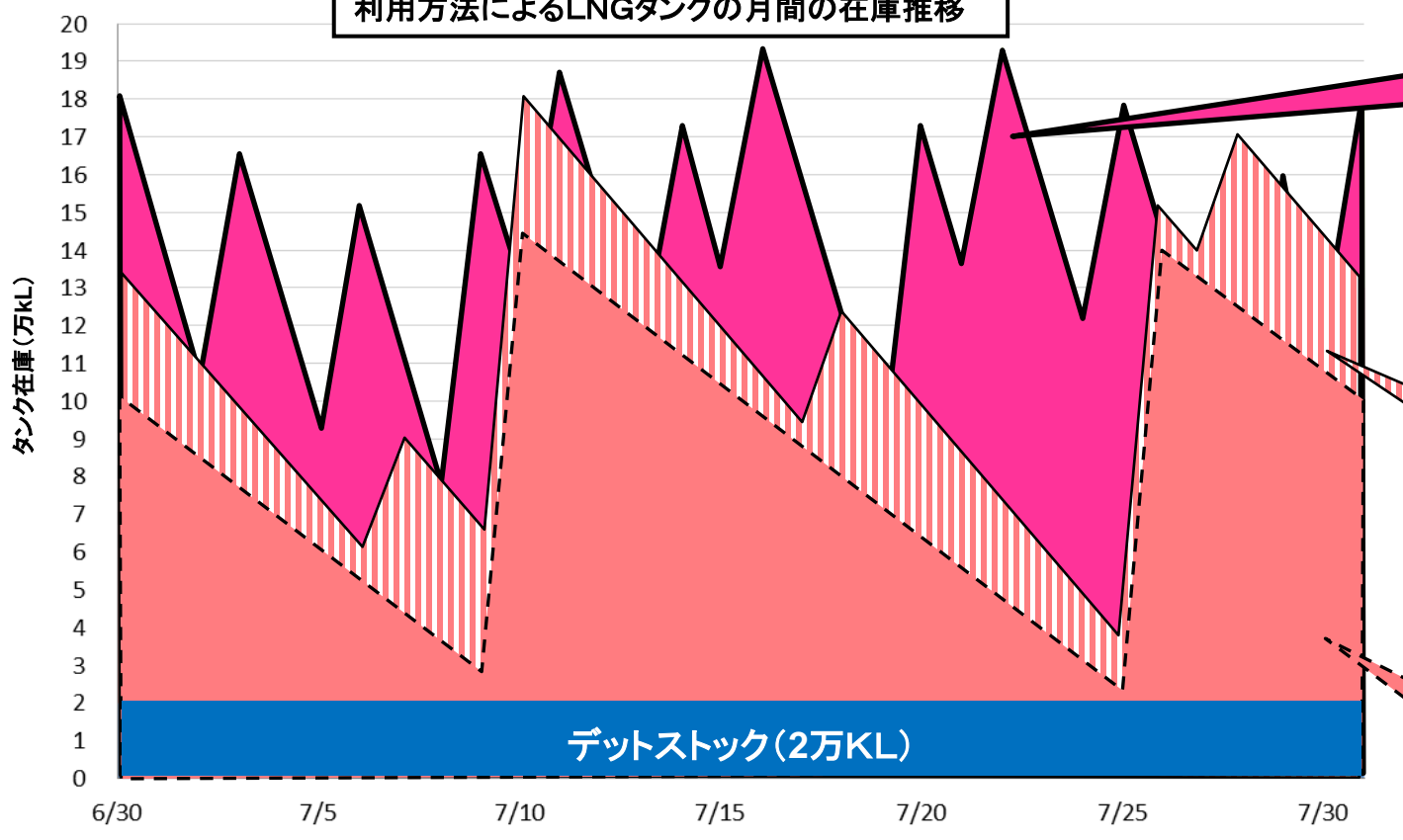
上記を踏まえた詳細要望

- 「消費寄託方式」を前提とした「タンク余力の算定と見通し」及び「タンク利用料金の算定」に係るルール策定及び事後監視
- タンク利用料金について、「同一条件同一料金」の透明性を確保するための具体的な考え方や行為の明確化
- タンク余力の算定にあたって、「需要増減リスク対応幅」、「原料供給途絶リスクへの対応量」について、合理的算定ルールの策定
- 第三者利用の不当な拒絶、配船計画策定の際に不当な扱いを受けるなどの問題が生じた場合の紛争処理の仕組み作り



LNG基地の第三者利用のあり方について(利用方法の比較)

利用方法によるLNGタンクの月間の在庫推移



消費寄託方式

- タンク内在庫を実質的に共有することにより、タンク余力を効率的に活用(新規参入が拡大)
- タンク回転率が大きく向上(コスト削減効果大きい)

ルーム貸方式

- 各々がタンク能力を保有するため、新規参入が限定的
- タンク回転率の上昇率が小さい(コスト削減効果が小さい)

基地保有者単独

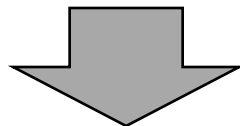
各方式	月間払い出し量	タンク回転率	固定費負担 (年間10億円として)
基地保有者単独	24.8万KL	1.24回転	336円/KL/月
ルーム貸方式	37.2万KL	1.86回転	224円/KL/月
消費寄託方式 (新規参入拡大)	111.6万KL	5.58回転	75円/KL/月

⇒コスト削減により消費者利益の増大、タンク内在庫を利用者間で融通することで緊急対応力が強化



2. 保安(消費機器調査等)の委託について

新規参入者からの保安受託について、中立・公正な業務運営を担保することを願いたい。

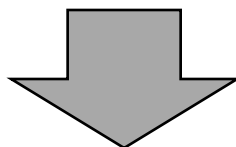


上記を踏まえた詳細要望

- 保安受託を拒否できる正当な理由について、恣意的な判断を排除する仕組みの策定
- 保安の受託料金について、例えば代表的な受託業務の費用の公開など、既存ガス会社と料金の同等性が確保される仕組みの策定
- 受託した保安業務の中で知りえた新規参入者の営業情報について、既存ガス会社の小売部門への情報遮断措置
- こうした点を含め、既存ガス会社の「問題となる行為」について、具体的な発動基準の明確化
- 既存ガス会社の関連会社等について、「望ましい行為」として位置付けられた保安受託を実施しない場合の措置の具体化

3. 同時同量制度(ロードカーブ方式)について

同時同量制度(ロードカーブ方式)のルール策定と運用について、透明性と公平性が確保されるようお願いいたします。



上記を踏まえた詳細要望

- 現在の一般ガス事業者の注入計画の策定方法・需給調整方法(導管ネットワークの運用方法)の明示と代表的なネットワーク地点でのロードカーブの継続的な公開
- 小売全面自由化後の注入計画や需給調整方法の策定にあたって、全てのガス小売事業者が公平に導管ネットワークの貯蔵機能を活用することを目的として、新規参入者を含めて公の場で検討すること
- 小売自由化後、注入計画策定等について疑義が生じた場合に、新規参入者からの質問・協議に応じることや、監視等委員会が厳正な審査を行う仕組み